

11/1・2(土・日)

第68回 市民文化祭

文化芸術をエンレイホールで堪能しませんか

名寄市内で活動する団体が日ごろの練習の成果を披露します。
芸術の秋、ぜひエンレイホールで芸能発表をお楽しみください。

11月1日(土) 10時00分(予定)

第1部	太鼓
第2部	合唱・ピアノ
第3部	舞踊・よさこい
第4部	一輪車
第5部	詩吟
第6部	演劇

11月2日(日) 10時00分(予定)

第1部	バレエ
第2部	歌謡
第3部	民謡
第4部	ダンス・フラダンス
第5部	楽器演奏



※出演団体などは調整中のため、予定を掲載しております。
詳細については10月中旬に名寄市ホームページやポスター等にてお知らせします。

同日程にて、東館を中心に展示発表も開催しております。
ぜひお立ち寄りください。

▶ 11月1日(土)・2日(日)

開場：開演の30分前を予定

入場
無料!

11/9(日)

日本音楽財団・全国公立文化施設協会共同事業 EN-RAYホール開館10周年記念 ストラディヴァリウスコンサート 吉本梨乃ヴァイオリンリサイタル

1736年製「ムンツ」が再び名寄へ



©Keiji Fujita

【吉本梨乃(Vn.) プロフィール】

2003年神戸生まれ。3歳でヴァイオリンを始め、国内のコンクールで優勝・入賞。14歳からウィーン国立音楽大学のギフテッドコース、大学入学準備クラスでミハエル・フリッセンシュラガー教授に師事。17歳からエリザベート王妃音楽院でオーギュスタン・デュメイ氏に師事。

第16回パドバ国際音楽コンクール(イタリア)弦楽器部門と、ヴィルトウオーゾ部門、ソリストオーケストラ部門で優勝、全部門グランプリを受賞。優勝者ツアーとして、ロシア、イタリアで演奏し大成功をおさめたほか、AADGT25周年記念コンサートに招待されカーネギーホールで演奏。

2022年、第3回アイザックスターン国際ヴァイオリンコンクールでファイナリスト、第10回フリッツ・クライスラー国際ヴァイオリンコンクールで第2位を受賞。2021年、ウィーンコンツェルトハウスでウィーン室内管弦楽団と共演、2022年、ウィーン室内合奏団とソリストとしてスペインツアーを行い、大好評を得る。以降もウィーン楽友協会やウィーン放送交響楽団と、ブルガリアのヴァルナ音楽フェスティバルでブルガリア国立放送交響楽団と、さらにベルギーのフラスカティオーケストラ、中国の上海交響楽団、日本フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団と共演を重ねている。音楽の友2020年「ヴァイオリンの新星たち」の特集で紹介された。2020、2021年度ローマ音楽財団奨学生。



©Seichi Saito

【金子三勇士(Pf.) プロフィール】

1989年、日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれる。6歳より単身ハンガリーに留学。祖父母の家よりバルトーク音楽小学校に通い、ハンガリーのピアノ教育第一人者チェ・ナジュ・タマーシュネーに師事。11歳より飛び級でハンガリー国立リスト音楽院大学(特別才能育成コース)に入学、エックハルト・ガーボル、ケヴェーハー・ジュンジ、ワグナー・リタの各氏に師事。16歳で全課程取得とともに日本に帰国。東京音楽大学付属高等学校に編入、清水和音、迫昭嘉、三浦捷子の各氏に師事。同大学を首席で卒業、同大学院修了。

2008年バルトーク国際ピアノコンクール優勝の他、数々の国際コンクールで優勝。

第12回ホテルオークラ音楽賞、第22回出光音楽賞など、受賞多数。

2024年4月に発足した「日本＝ハンガリー未来プロジェクト」のエグゼクティブプロデューサーに就任、国家間の文化交流に精力的に取り組んでいる。

キシマロシ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。

～ストラディヴァリウス 1736年製 ヴァイオリン「ムンツ」～

日本音楽財団が保有し、若手有望演奏家や世界で活躍する演奏家に無償で貸与されるストラディヴァリウス製ヴァイオリンは15挺あり、そのうちの1つが「ムンツ」。楽器の内部に貼られたラベルには、ストラディバリ本人の手書きで「d'anni 92 (92歳)」と書かれている珍しい楽器である。透明な黄褐色のニスで楽器のほぼ全体に綺麗に残っており、楽器の保存状態も音色も格段に優れている。1874年以降、英国バーミンガムの有名な収集家アマチュア・ヴァイオリン奏者のH.M.ムンツが使用していたため、「ムンツ」と呼ばれている。1737年に死去したストラディヴァリが、最晩年に製作した楽器の1つとして知られている。

偶然にも「ムンツ」は2012年に吉本梨乃の前の使用者である有希・マヌエラ・ヤンケとともに名寄市を訪れたことがあり、13年ぶりに名寄市にてその音色を響かせることとなる。

日本音楽財団の事業は、日本財団の全面的な支援により実施されている。

▶ 11月9日(日) 16:00開演(15:15開場)

▶ 全席自由席 一般 2,000円

※当日は200円増 ※未就学児入場不可

※先着10名様に限り託児サービスあり

(1歳～小3まで対象、10/23(木)まで)

※車いす席には限りがありますのでご了承ください

▶ プレイガイド EN-RAYホールチケットセンター

ローソンチケット(Lコード:12457)

チケット
好評
販売中!

EN-RAYホールチケットセンター限定割引

18歳以下、70歳以上、名寄市立大学生、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保険福祉手帳のいずれかをお持ちの方は前売り一般価格の半額(1,000円)にて購入できます

※購入時に年齢を確認できるものや、学生証、障害者手帳などご持参ください

EN-RAY倶楽部会員割引対象公演(先行入場あり)

◆会員は1枚に限り前売り価格から1割引

◆購入時は会員証をお持ちください(本人以外での購入はできません)

11/24(月・祝) 避難訓練コンサート**もしもコンサート中に火事が起きたら・・・？**

公演中に「火事」などの災害が起きたとき、「お客様」も「スタッフ」も落ち着いて行動できるようEN-RAYホールにて避難訓練コンサートを開催いたします。出演は昨年に引き続き「名寄駐屯地音楽隊」と「名寄朔北太鼓」の皆様。公演中のどこかで警報が鳴りますので、観客の皆様もスタッフの指示に従いながら、一緒に避難訓練にご参加ください。

※訓練終了後は、席に戻って残りのプログラムをご鑑賞いただけます。

名寄朔北太鼓【演奏予定曲：息吹、細氷、山彦】

名寄朔北太鼓は、昭和52年に結成され今年で48周年を迎える事になりました。「朔北」という名のとおり日本最北の自衛隊太鼓チームであり、名寄市をはじめ道北地域におけるイベントや、お祭りでの演奏活動を行っております。今後も地域の発展に少しでも貢献できるように努力していきますので引き続きご支援ご協力よろしくお願いします。

**名寄駐屯地音楽隊【演奏予定曲：Mrs.GREEN APPLE×ドレー 他】**

昭和38年の発足以来62周年を迎えることができましたのは、名寄市をはじめ地域の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。現在は第9代隊長・千葉彰彦陸曹長のもと、心に響く演奏をお届けできるよう日々活動しております。今回は遠軽自衛隊音楽隊、留萌駐屯地音楽隊、上富良野駐屯地音楽隊、旭川駐屯地音楽同好会の仲間とともに、総勢22名で演奏いたします。今後とも変わらぬご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- ▶11月24日 月曜日 14:00開演(13:30開場)
- ▶全席自由席 無 料(整理券配布)
- ▶整理券配布所 EN-RAYホールチケットセンター
ふうれん地域交流センター

**整理券
10月下旬
配布予定****12/14(日)**

EN-RAYホール開館10周年記念

名寄市民劇「エンドロールにはまだ早い」**弦巻楽団「弦巻啓太」が書き下ろした名寄市民劇完全オリジナル作品**

EN-RAYホール開館10周年を記念し、6年ぶりに市民劇を開催。
脚本は9月にここEN-RAYホールで「ローリング・サンダー」を上演した劇団 弦巻楽団の代表を務める「弦巻啓太」が書き下ろし、演出はSWANK企画代表の「富田耕一郎」が務める。

名寄市民劇のための完全オリジナルで描かれた脚本を、名寄市民を中心としたキャストでお送りする公演です。

映画を愛する男の映画にならない人生の紆余曲折を描いた物語を、この日のために集まるキャストで演じます。是非お楽しみください。



※前回の名寄市民劇の様子



※前回の名寄市民劇の様子

▶12月14日(日) 14:00開演(13:30開場)

▶全席自由席 一 般 1,000円
(18歳以下無料 ※名寄市立大学生生含)※当日は200円増 ※未就学児入場不可
※車いす席には限りがありますのでご了承ください▶プレイガイド EN-RAYホールチケットセンター
ふうれん地域交流センター**チケット
11月
販売予定****EN-RAY倶楽部会員割引対象公演**

- ◆会員は1枚に限り100円割引
- ◆購入時は会員証をお持ちください(本人以外での購入はできません)